



human health care

hbc (human health care) のマークは、フローレンス・ナイチンゲールの直筆サインをもとにデザインされたものです。治療する側の発想だけでなく、ベッドの上にいる人びとの視線で医療を見つめることの大切さ。みずから志し傷ついた人の看護に身を捧げた彼女の行動のあり方に、エーザイの思いが込められています。

株主通信

2010年3月期第2四半期報告

エーザイ株式会社

<http://www.eisai.co.jp>



目次

株主の皆様へ
業績のポイント
第2四半期決算の概況
株主還元について
開発品の状況
プロダクト・クリエイション
トピックス
主な提携の状況
株式の状況
株式に関するメモ
株主説明会開催のお知らせ

お問合せ先

株式に関するお問合せ先
エーザイ株式会社 総務部
〒112-8088 東京都文京区小石川4-6-10
TEL: 0120-501-217(通話料無料)
平日9:00~17:00

商品に関するお問合せ先
エーザイ株式会社 お客様ホットライン
TEL: 0120-161-454(通話料無料)
平日9:00~18:00/土、日、祝日9:00~17:00

株主の皆様へ



株主の皆様には、日頃よりご指導、ご支援を賜り、誠に有難うございます。

2010年3月期第2四半期決算と経営の状況をご報告申し上げます。

取締役兼代表執行役社長
兼最高経営責任者(CEO)

内藤 晴夫

業績のポイント

(数字は四捨五入表示)

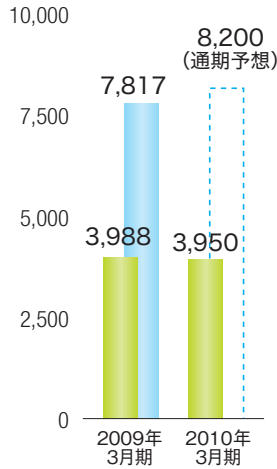
- 第2四半期(累計)の連結売上高は、3,949億82百万円(前年同期比1.0%減)となりました。
- 売上高については、アルツハイマー型認知症治療剤「アリセプト」が1,560億19百万円(前年同期比2.3%増)と増加しましたが、プロトンポンプ阻害型抗潰瘍剤「パリエット」(米国名「アシフェックス」)は733億34百万円(同11.2%減)となりました。また、がん関連領域製品の売上高は389億94百万円(同1.5%減)となりました。
- 研究開発活動への継続的な投入を行う一方で、販売管理費の効率化を進めた結果、営業利益491億19百万円(前年同期比5.5%増)、経常利益451億97百万円(同3.6%増)、四半期純利益309億22百万円(同7.7%増)となりました。
- これにより、1株当たりの四半期純利益は108円54銭(前年同期より7円76銭増)となりました。

第2四半期決算の概況(1)

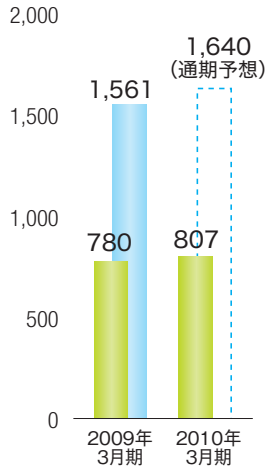
(数字は四捨五入表示)

■ 通期 ■ 第2四半期(累計)

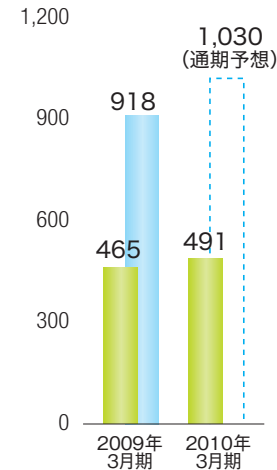
売上高 (単位:億円)



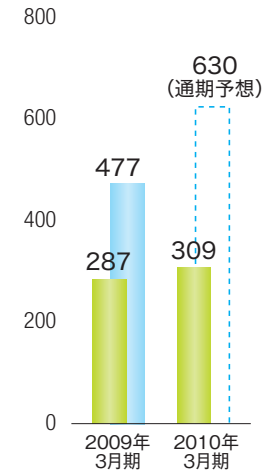
研究開発費 (単位:億円)



営業利益 (単位:億円)



四半期(当期)純利益 (単位:億円)



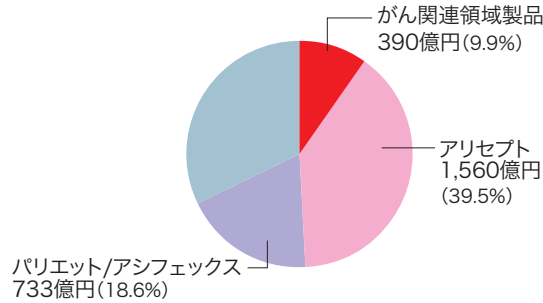
本株主通信に記載されている予想および計画等は、さまざまな不確定要素(経済情勢、薬事制度、研究開発上のリスク、製造承認許可など)により変動するものであることをご了解願います。

第2四半期決算の概況(2)

(数字は四捨五入表示)

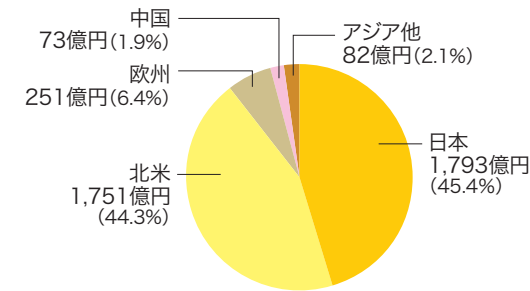
主力製品の売上高

()内は構成比



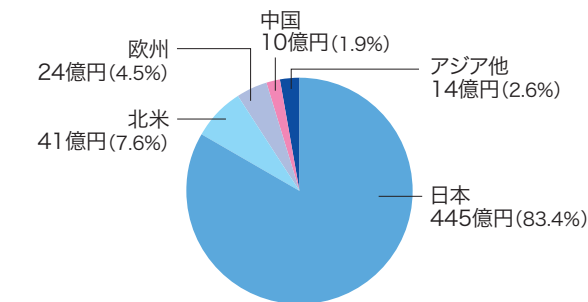
所在地別売上高

()内は構成比



所在地別営業利益

()内は構成比

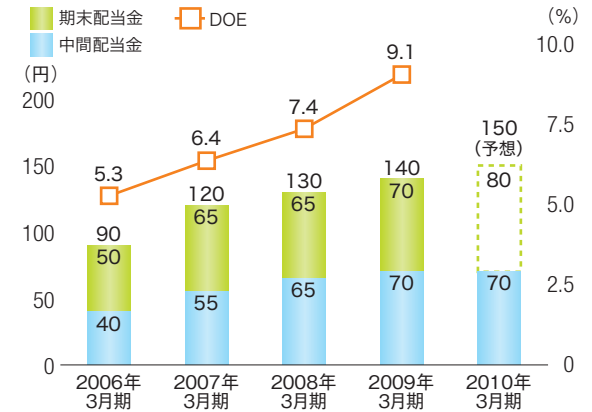


株主還元について

株主還元については、連結業績、連結純資産配当率(DOE)およびキャッシュ・インカムを総合的に勘案し、株主の皆様へ継続的・安定的な配当を実施しております。

2010年3月期の中間配当金は、株主の皆様への継続的・安定的な配当という基本方針に基づき、1株当たり70円とさせていただきます。なお、期末配当金は80円(年間配当金150円(前期より10円増))を見込んでおります。

配当金およびDOEの推移



$$DOE = ROE \left(\frac{\text{当期純利益}}{\text{株主資本}} \right) \times \text{配当性向} \left(\frac{\text{配当金支払額}}{\text{当期純利益}} \right)$$

*DOEには、株主の皆様への利益配分を示す配当性向と、株主の皆様が投資した資金をいどれだけ効果的に利益を出せたかを示す自己資本当期純利益率(ROE)の2つの要素が含まれております。

キャッシュ・インカム = 当期純損益 + 有形・無形固定資産減価償却費 + インプロセス研究開発費 + のれん償却額 + 減損損失(投資有価証券評価損含む)

*キャッシュ・インカムは、成長投資・事業開発、配当支払、借入返済等に使用可能なキャッシュの総額であり、企業の成長性・戦略を検証する尺度と考えております。

開発品の状況

第2四半期以降の開発品のステージ、地域等の進捗状況は以下のとおりです。

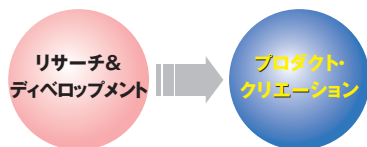
領域	製品名、 開発品コード	開発状況	開発進捗				地域	剤形
			フェーズⅠ	フェーズⅡ	申請	承認		
神経	アリセプト (E2020)	新剤形の内服ゼリー剤の承認を取得しました。 (2009年7月)				★	日本	経口
		23mg徐放製剤のフェーズⅢ試験が終了し、申請手 続中です。			申請手続中		米国	
	Inovelon	レノックス・ガストー症候群の併用療法の効能・効果 で承認を取得しました。(2009年7月)				★	韓国	経口
がん・ 支持療法	E7389	局所進行性および転移性乳がんを適応として承認 申請しました。(2009年7月)					スイス、 シンガポール	注射
	Dacogen (E7373)	骨髄異形成症候群の治療において5日間投与とする用 法・用量追加の申請が受理されました。(2009年7月)					米国	注射
	AKR-501 (E5501)	肝疾患に伴う血小板減少症を対象としたフェーズⅡ 試験を開始しました。					米国	経口
消化器	パリエット (E3810)	非びらん性胃食道逆流症に関する効能・効果追加 の再申請をしました。(2009年9月)*1					日本	経口
		抗生剤との3剤併用による胃MALTリンパ腫、早期 胃癌に対する内視鏡的治療後胃、および特発性血小 板減少性紫斑病におけるヘリコバクター・ピロリの 除菌療法に関する効能・効果追加の申請をしました。 (2009年9月)*2						
血管・ 免疫反応	ヒュミラ (D2E7)	クローン病に関する効能・効果追加の申請をしま した。(2009年9月)					日本	注射
		強直性脊椎炎に関する効能・効果追加の申請をしま した。(2009年10月)						
他疾患	グルファスト	2型糖尿病の効能・効果で承認を取得しました。 (2009年7月)				★	フィリピン	経口

*1：本疾患に関する効能・効果追加の申請は、2006年3月に行い、2008年2月に申請をいったん取下げていましたが、その後申請データを補完する追加試験を実施し、再申請したものです。

*2：抗生剤は、アモキシシリン水和物およびクラリスロマイシンまたはメトロニダゾールです。

プロダクト・クリエーション

当社グループでは、研究開発活動をプロダクト・クリエーションと位置づけ、この活動を推進するために、2009年7月より、新しい組織体制として「エーザイ・プロダクト・クリエーション・システムズ(EPCS)」をスタートいたしました。



EPCSは、プロダクト・クリエーション・ユニット(PCU)、コア・ファンクション・ユニット(CFU)、CEOオフィスで構成されます。

EPCSの全体像



EPCSのめざすところは、製品の創出活動において、より患者様志向を明確にすることにあります。患者様の喜怒哀楽を理解し、患者様が明示的に感じられている問題、暗黙的に持たれている課題に対して、革新的な治療を提供することにより、患者様の生命・生活の質を改善することを各々の活動目的としております。

そのために、自律的な環境の下で明確な責任を持った疾病・技術領域別専任組織を形成し、製品創出におけるオーナーシップとモチベーションを高め、生産性・効率性の向上へとつなげてまいります。

EPCSにより、未だ十分な治療法が確立されていない疾病の克服や患者様や介護者の皆様のQOLの向上に資する革新的な新薬の早期創出をめざしてまいります。

トピックス

アルツハイマー型認知症治療剤「アリセプト」の戦略的提携に関するファイザー社との合意

「アリセプト」に関するファイザー社との戦略的提携契約(1994年10月締結)について、その法的解釈の相違に基づく論争を解決すべく、同社と話し合いを進めてまいりました。そして、2009年9月に両社間で包括的な合意にいたしました。両社間の主な合意事項は次のとおりであります。

- 1)「アリセプト」に関する戦略的提携契約の一部変更
米国、日本、欧州主要国での「アリセプト」のコ・プロモーションの継続。ただし、日本においてはコ・プロモーション契約を2012年12月31日をもって終了。
- 2)ファイザー社の新製品に関する新たな提携関係の締結
ファイザー社の神経障害性疼痛治療薬「プレガバリン(一般名)」(欧米では「Lyrica」として上市済み、日本では承認申請中)について、日本市場におけるコ・プロモーションの実施。
今回のファイザー社との合意により、2011年3月期以降の当社売上高ならびに利益面にポジティブな影響が期待できると予想しています。

主な提携の状況

●英国Biocompatibles社と血管塞栓用ビーズに関するライセンス契約を締結

本契約により、当社はBiocompatibles International plcが開発したポリビニルアルコールハイドロジェルマイクロスフィアとその関連製品について、日本での独占的開発および販売権を獲得しました。(2009年7月)

●過活動膀胱治療剤「ウリトス錠」に関する中国・アセアン諸国・インド・スリランカにおけるライセンス契約締結

本契約により、当社は杏林製薬株式会社より中国・アセアン諸国・インド・スリランカにおける本剤の独占的開発権および販売権を獲得しました。(2009年9月)

●DNDiとシャーガス病に対する新薬開発に関する提携およびライセンス契約を締結

独立非営利財団であるDNDi(Drugs for Neglected Disease initiative, スイス)と寄生虫疾患であるシャーガス病に対する新しい治療薬の臨床開発に関する提携およびライセンス契約を締結しました。当社とDNDiは、ネグレクトド・ディーズに対するアンメット・メディカル・ニーズを充足すべく、シャーガス病に苦しむ人々に1日も早く治療の新しい選択肢を提供できるよう緊密に協力していきます。(2009年9月)

●抗がん剤開発におけるクインタイルズ社との戦略的提携契約の締結

プロダクト・クリエーション戦略をより一層推進すべく、ヘルスケア・アウトソーシングにおける世界最大手のクインタイルズ社と、当社が現在開発中の6種の抗がん剤候補化合物に関する戦略的な提携契約を締結しました。本提携により、複数の候補化合物の複数の適応開発を同時進行することが可能となり、開発期間の大幅な短縮と確度の上昇が期待されます。(2009年10月)

株式の状況

(2009年9月30日現在)

発行可能株式総数	1,100,000,000株
発行済株式総数	296,566,949株
うち自己株式数	11,655,575株
株主数	74,095名

大株主(上位10位)

(2009年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	17,528	5.91
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	16,190	5.46
日本生命保険相互会社	15,344	5.17
株式会社埼玉りそな銀行	12,398	4.18
ザチェースマンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	10,820	3.65
イーザイ従業員持株会	6,352	2.14
住友生命保険相互会社	5,015	1.69
株式会社みずほ コーポレート銀行	4,680	1.58
全国共済農業協同 組合連合会	4,271	1.44
財団法人内藤記念 科学振興財団	4,207	1.42

*持株数は切捨表示しております。

*持株比率は自己株式を含む発行株式の総数に対する割合として算出しております。

*自己株式11,655千株(3.93%)は、議決権がないため除いております。

*株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループから、同グループ4社の共同保有として2009年7月6日付で提出された大量保有報告書(変更報告書)により2009年6月29日現在で17,857千株(6.02%)を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当四半期末における株主名簿で確認することができないため除いております。

*ウェリントン・マネジメント・カンパニー・エルエルピーから、2009年8月7日付で提出された大量保有報告書(変更報告書)により、2009年7月31日現在で17,640千株(5.95%)を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当四半期末における株主名簿で確認することができないため除いております。

株式に関するメモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

配当金基準日 期末配当 3月31日
中間配当 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL:0120-232-711(通話料無料)
(平日 9:00～17:00 オペレーター対応)

上場証券取引所 東京証券取引所、大阪証券取引所

公告方法 電子公告により行う
公告掲載URL
<http://www.eisai.co.jp/fr/index.html>
ただし、やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
2. 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、上記連絡先(三菱UFJ信託銀行証券代行部)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取り次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店へご照会ください。

株式に関するお問い合わせ先

イーザイ株式会社 総務部
TEL:0120-501-217
(平日 9:00～17:00 通話料無料)

株主説明会開催のお知らせ

当社では「株主説明会」を開催し、当社の経営戦略や近況等について、コーポレートコミュニケーション担当執行役よりご報告申し上げ、あわせて株主の皆様からご質問やご意見を賜りたく存じますので、ご案内申し上げます。

【福岡会場】

日時：12月20日(日曜日) 10:00～12:00

場所：ANAクラウンプラザホテル福岡
福岡市博多区博多駅前3-3-3
(JR博多駅より徒歩5分)

【お申込み方法】

ご参加いただくには「入場票」が必要です。はがきに以下の事項をご記入のうえ、11月30日(月)必着でご送付ください。折り返し、当社より「入場票」を送付いたします。

※お申込み数が定員(200名)を超えた場合は抽選とさせていただきます。抽選結果は「入場票」の発送(12月4日予定)をもって発表に代えさせていただきますので、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

【ご記入事項】

①ご芳名、②ご住所、③電話番号

【あて先】

〒112-8088(住所の記載は不要です)
イーザイ(株)総務部「株主説明会(福岡)」係

【株主説明会実施のご報告】

9月27日に大阪、10月4日には名古屋で株主説明会を開催いたしました。



大阪会場